

毎月11日は

防災を**考**える日

令和4年10月号



「防災気象情報を活用しよう」

■防災気象情報とその効果的な利用について

気象災害の危険が認められる場所（急傾斜地や溪流の付近、河川や海岸周辺の低地など）に、大雨・暴風・高潮などの激しい現象が加わると、土砂災害・洪水・高潮等が発生し、命に危険が及ぶ非常に危険な状況となります。

お住まいの地区にどのような危険があり、災害種別（土砂災害・洪水・高潮）ごとに、命を守るためにはどのような避難行動をとる必要があるのか、ハザードマップやお住まいの地域で過去に発生した災害の記録を参考に、日頃からしっかり認識しておくことが大切です。



〔気象庁ホームページ(防災気象情報とその効果的な利用)を加工して作成〕

■防災基礎クイズ

Q 台風情報で用いられる用語として、10分間の平均風速15m/s（15メートル毎秒）以上の風が吹いている範囲、または吹く可能性のある範囲を何というでしょう？

- ① 予報円 ② 強風域 ③ 暴風域

毎月11日は「防災を考える日」です。

震災の教訓や災害への日頃の備えなどについて、家庭や学校、職場、地域などで話し合ってみましょう。

■問い合わせ先／気仙沼市総務部危機管理課防災安全係

☎：0226-22-3402 FAX：0226-22-1467 E-mail:kikikanri@kesenuma.miyagi.jp



答え：② 強風域 ※強風域は、10分間の平均風速25m/s（25メートル毎秒）以上。